

京都教区時報

発行 京都司教区
責任者 村上 透 磨
京都市中京区河原町
三条上ル
京都教区時報編集室
TEL 075-211-3468
FAX 075-211-4345

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp> 4345

2 頁 第4回教区宣教司牧評議会報告

6 頁 外国語ミサの教会と時間

点訳版「京都教区時報」〈無料〉
ご希望の方は点訳ネット「レジ
ナ」代表嶺崎(たけざき)裕子さ
んまでお申込みください。

TEL・FAX 0794-31-8601

自分のためだけではない 信仰の恵み

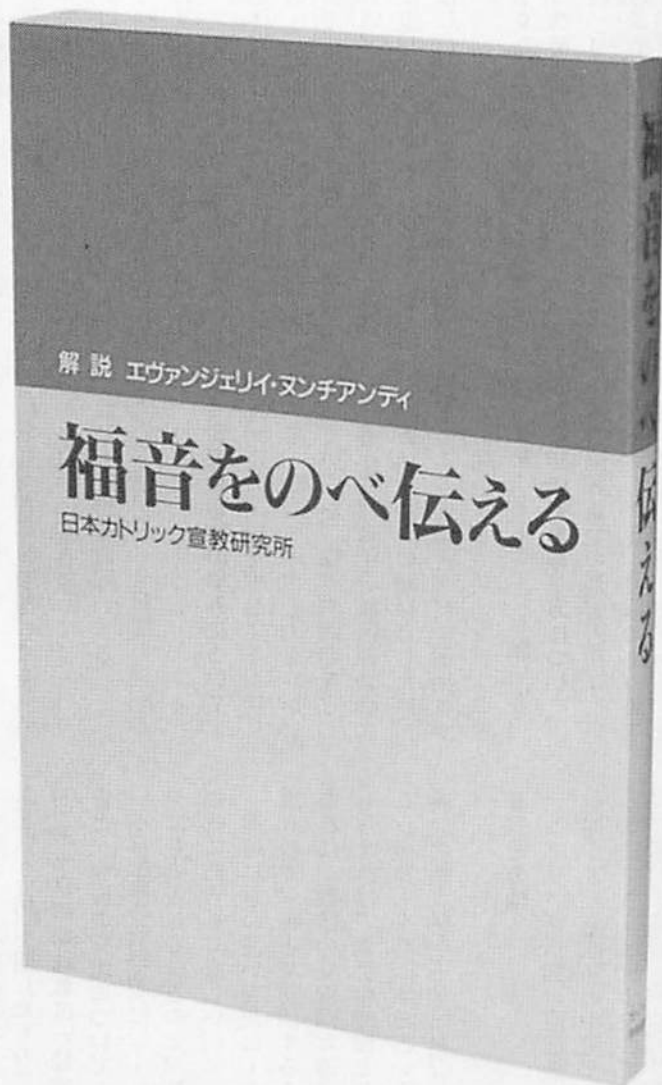
「1974年10月、シノドスの
閉幕にあたって、司教たちが次の
ようなりっぱな声明を出したこと
は、わたしにとって大きな喜びで
あり、慰めでありました。『わた
したちは、すべての人々に福音を
のべ伝えることが教会の第一かつ

本来の使命であることを、ここに
再び確認したいと思います。そ
れは、今日、著しく変化しつつあ
る社会では、命令かつ使命です。
福音を伝えることは、実に教会自
身の本性に深く根ざしたもともと
特有の恵みであり、召命です。教
会はまさに福音をのべ伝えるため
に存在しています。すなわち、神
のこばを説き、教え、恩恵を与

(写真はパウロ
6世「福音宣教」
の解説書です)

(パウロ6世「福音宣教」14)

える手段となり罪人を神に立ちか
えらせ、キリストの死と栄光ある
記念であるミサ聖祭によってキリ
ストのいけにえを永続させるため
に教会は存在しているのです」。



2
2006

第4回 教区宣教科司牧評議会 報告

12月3日(土) 河原町会館6階ホールで行われた、第4回カトリック京都教区・宣教科司牧評議会の要点を報告します。正式な議事録は各小教区・修道院に送付されます。

議事

I 司教からの報告説明事項

(1)各ブロックの「2005年度ブロック宣教科司牧計画(短期計画)の評価」を資料としてまとめたので、小教区に持ち帰り配布すること。

(2)ブロックとしてどういう風に活動したか、各地区毎にブロック代表と地区長により評価の資料に基づき報告された。その報告内容は省略)

【司教総評】

ブロックごとの計画策定とそれについての評価という作業を始めて2年目になるが、それぞれブロックの中でよく準備する会議を持つことで、共同司牧への歩みが少しずつできてきていると喜んでいる。14ブロックの報告のまとめ方は、様々で個々に特徴がでているので、

内容について云々するより、それを皆が参考にして来年の報告に活かしていただきたい。何が足りないかがそれぞれのブロックで分かってくるのを期待したい。

ブロック共同宣教科司牧が進んでいるのをうれしく思っている。行事が多い、それをこなすだけ、というのはいくつかではない。諸行事の準備を通じて共同宣教へのプロセスを大切に感じていただければよい。

ブロックとして、小教区の寄せ集めではないことを意識してほしい。ブロックというのは小教区の連合体ではなく、小教区の活動を大切にしつつ、同時に小教区同士の補完性を大切に活動して欲しい。これからの視点は、宣教を意識して外に向かったものにしてほしい。福音宣教的視点を大切に。

(2)2006年度の教区テーマとブロック司教訪問について
資料「日常からミサを生きる」パート3(教区時報1月号掲載)

派遣される小教区評議会と小教区規約3年目の完成の年となること

とを関連づけて考えたい。規約調整委員会を年4回開催する予定である。新しい福音宣教を来年から分かち合う。新しい熱心・情熱、新しい方法、新しい表現という3つのヒントを提示するので、皆で分かち合ってほしい。

司教訪問の手順として、ブロックのすべての小教区から多くの信徒の参加を呼びかけてほしい。来年からは訪問先のブロックとしての公式記録を作成していただく。それをもって不参加者への後日の分かち合いの参考にしたい。司教にも送付をお願いする。

(別紙資料により日程の説明があった)

(3)共同宣教科司牧の歩みについて
共同宣教科司牧を推進する現状について、教会への求心力をいかに求めていくか。悩みや問題をどうしどし寄せて、来年の教区評議会における話し合いの題材としたい。

推進チームの新メンバー選出についてお願いする。新メンバーの推薦は来年1月末までをお願いする。

(4)教区評議会のあり方について
本教区評議会の運営方法について、議案の提出、会議のあり方等について意見を聞きたいので、教区全体として共通に取り組みたい

議題の提出を待っている。

ブロックによっては教区評議会への出席者の選出方法がまちまちであるようだが、かならずブロックに持ち帰って適切に報告してくれる人なら固定としても、毎回違う人物を選出してもよい。

来年度から開始時間を早め午前11時から開催する。これは、共同宣教科司牧に関する報告のみにとどまらず、教区全体に関するさまざまな問題について出席者が皆で学ぶという目的を期したものである。

(5)「済州京都姉妹教区」縁組の報告と、今後の交流について
本日配布の資料や教区ホームページにも公表しているので、教区民の皆に知らせてほしい。

地道に息の長い交流にしたいと思うので、有志で訪問することがあれば、教区の交流部に連絡してもらえれば、教会の仲間として向こうの友人を訪問するという有意義な企画となるように協力したい。

II その他

カトリック新聞は京都教区では信徒18690名の中で795部の購読でちょっと少ないので、カトリック新聞社の隆盛にご配慮いただきたいとの要請があった。

ウォーカソン

昨年京都教区内で開かれたウォーカソンの要点を紹介します。

◆ウォーカソン・三重

主催 三重カトリック協議会
日時 4月29日(祝) 10時
コース 名張教会スタート、日本キリスト教団、中央公園、平尾山カルチャーパーク、名張教会ゴール

距離 約8・5キロメートル
参加者 約210名

募金額 約115万円

送金先

○三重ダルク

○三重県外国人緊急支援ファ
ンド

○パレスチナ子どものキャ
ンペーン

◆奈良ウォーカソン

主催 奈良カトリック協議会
日時 10月9日(日) 10時半
コース 大和高田教会スタート、馬見丘陵公園ゴール

距離 約10キロメートル

参加者 約150名

募金額 約70万円

送金先

○フィリピン・ブレダ基金

○東ティモールデスク

○ハイチ共和国の学校給食
支援

◆京都南部ウォーカソン

主催 京都南部ウォーカソン実
行委員会
日時 11月3日(祝) 10時
コース 河原町教会スタート、鴨川上流北山橋折り返し、河原町教会ゴール

距離 約12キロメートル
参加者 約600名

募金額 約160万円(12月中旬
現在)

送金先

○アフリカ・コンゴでのプ
ロジェクト支援

○イースタービレッジ・ミ
ンダナオを支える会

○グアテマラ・ハラバのヨ
ハネ・パウロ2世の統合
育成(人間的)トレーニング
センターの建築をサ
ポートするプロジェクト

○ホーチミン市・ストリー
トチルドレン友の会(F
FSC)

○きょうと夜まわりの会

◆みんなで歩こう
びわこウォーカソン

主催 滋賀カトリック協議会
日時 11月23日(祝) 10時
コース 大津教会スタート、大津港湖岸、大津教会ゴール

距離 約4・4キロメートル
参加者 約150名

募金額 集計中(参考・前年30
数万円)

送金先 滋賀県内社会福祉会(知
的障害者対象) 3箇所

○止揚学園

○ひかり福祉会

○大津福祉会



スタート前、カテドラルの前庭



第3チェックポイント、鳥もお待ちかね



鴨川を上流へ、上流へ

(以上の写真はいずれも京都南部
ウォーカソンのものです)



福音センターニュース

2006年度

福音センター養成コース

	タイトル	内 容	日 程	場 所
基礎	福音センター基本講座(Ⅱ) (6回シリーズ)	福音センターの講座の基本となる講座。 今年のテーマは、「ミサ変換の秘跡」(仮題)	4/27、5/11、5/25 6/8、6/22、7/6	河原町会館 8階
学 び	『カトリック教会の教え』 に親しもう(第4回)	昨年に引き続き「キリスト者の倫理」を浜口師によりお話していただきます。 今年のテーマは「いのち」。具体的な取り組みをまじえた講座にしたいと考えます。	9月30日	河原町会館 6階
	特別講座 「新しい福音宣教を目標として」(5回シリーズ)	2006年度の教区目標「新しい福音宣教に向かう小教区評議会」を十分に生きることができるよう、考え、祈るための講座。パウロ6世の『福音宣教』に沿って「宣教」とは何かを5回にわたって見ていきます。	3/1、3/15、3/22 4/5、4/19	河原町会館 6階
祈 り	祈り(Ⅰ)	祈りとは何か。そしてどう祈ればよいのか。二泊三日の黙想会を通して理論と実践を学びます。	6月2~4日	ノートルダム唐崎 祈りの家
	祈り(Ⅱ)	祈り(Ⅰ)をもとに、識別の力を育て、信仰者として歩む道をさぐります。	10月27~29日	ノートルダム唐崎 祈りの家
沖にこぎ出そう	病人訪問(Ⅰ)	病床にある人を訪問するわたしたちはどうすれば「いやし人」になれるのか。経験豊かな沼野尚美氏のお話を聞きコミュニケーションの実践を学びます。	9月23~24日	宝塚 黙想の家
	結婚講座(第26回)	心理的、社会的、宗教的側面から「結婚」を考えます。	1/21、2/4、2/18	河原町会館 6階
	結婚講座(第27回)		7/1、7/15、7/29	河原町会館 6階
グループ学習	沈黙の祈りへ	神との一対一の対話である「沈黙の祈り」は、あらゆる使徒職の基礎となることを学び、共に祈ります。	春から1回/月	河原町会館 8階

〒604-8006 京都市中京区河原町三条上ル 京都カトリック福音センター

Tel 075-229-6800 Fax 075-256-0090 E-mail fukuin@kyoto.catholic.jp

2006年 福音センター養成コース

〈特別講座〉新しい福音宣教を目指して

今さら聞けへん

「福音宣教」てなんやの？

教区の2006年テーマ「新しい福音宣教に向かう小教区評議会」

キーワードのひとつは、「福音宣教」、でも…

「福音宣教」てなんやろ、と思ったことはありませんか **そこで**
パウロⅥ世の『福音宣教』を基に「福音宣教」を考えます

内容・講師・日程

- | | |
|--|-------------------------|
| I 最初で最大の宣教者—イエス・キリスト
～キーワードは「神の国」と「救い」～ | 2006年3月1日(水)
福岡 一穂師 |
| II イエス・キリストの宣教の後継者は？
～福音を伝える任務は教会の本質～ | 2006年3月15日(水)
一場 修師 |
| III 「わたしは万物を新しくする」
～宣教・福音化の目的は刷新～ | 2006年3月22日(水)
北村 善朗師 |
| IV 何を伝える？
～宣教・福音化の内容～ | 2006年4月5日(水)
奥村 豊師 |
| V わたしたちの取り組み
～京都教区が進める「新しい福音宣教」～ | 2006年4月19日(水)
大塚 司教 |

- 場 所：河原町会館6階ホール（3月22日を除く）
- 時 間：午後1：30～3：30（講話の後、希望者には「聖体礼拝」の時間があります）
- 申し込み：2月18日迄に、住所・氏名・電話・教会名をご記入の上、
参加費3,000円を下記にお振込みください。

郵便振替口座（00920-4-161844 カトリック福音センター養成コース）
〒604-8006 京都市中京区河原町三条上ル 京都カトリック福音センター
Tel 075-229-6800 Fax 075-256-0090 E-mail: fukuin@kyoto.catholic.jp

良書紹介

パウロ6世使徒的勧告
『エヴァンジェリイ・ヌンチア
ンティ』

教会の公式文書は、ラテン語の書き出しの言葉とその書のタイトルにします。この教書は「福音宣教」と訳されており、すが、「告知知らせるべき福音（エバングエリウム）について」であり、「現代社会における福音について」と語られていると言った方が、誤解を招かずにすむかも知れません。

さて「キリストの福音（良きおとずれ、エバングエリウム）を告知知らせること」を「布教」か「福音化」か「福音宣教」か等、どう理解するかが第一回ナイスでも大いに問題になったことが思い出されます。今「福音宣教」の推進に臨む私たちにどうもう一度理解を新たにしておきたいと思ふべきです。そのためには、この教皇教書をも一度じっくり読み直し、学ぶようにしたいと思ふます。

今年の司教教書も、この教皇の使徒的勧告を基本にされているようです。教皇の内容は、その項目のタイトルをあげれば、かなり見えてくるものなのだが、ここで先にあげた基本的な問題が訳語にあらわれて来ます。私たちの手もとには、宣教師司

司教委員会の名で訳された（富沢司教担当）は「福音宣教」となっていますが、日本カトリック宣教研究所訳では、「現代の福音化について」となっています。

ともかく「福音化」「福音宣教」という言葉を通して何を言おうとしているのかは、この教書をも一度読み返し確認すべきです。

ラテン語で福音はエヴァンジェリウム。エバングエリゼーションは、そこから生まれた言葉ですが、これを「福音化」と訳してよいものか、「福音宣教」とするか、「福音的生き方」、「福音的証し」、「福音的変容」等々、いろんな「ふくみ」をもって訳せる言葉です。

この教書は、教皇が「現代に福音に（を）生かすこと」とはどういう事なのか、1974年の司教代表者会議（シノドス）のまとめとして書かれました。（注）以下一応福音宣教という言葉を使います。

序論（この教書を出すいきさつ）
I 福音宣教者なるキリストから福音を宣べ伝える教会へ、II 福音宣教とは何か、III 福音宣教の内容、IV 福音宣教の方法、V 福音宣教の対象、VI 福音宣教の働き手、VII 福音宣教の精神、結論

京都教区・外国語ミサ

英語ミサ (ENGLISH)

・SAHN CHURCH

西院教会 ~PAG-ASA COMMUNITY

Every Sun. 15:00

毎週日曜日、15:00

・FRANCISCAN HOUSE

Every Wed. 15:00

毎週水曜日、15:00

・NISHI MAIZURU CHURCH

Every 1st Sun. 15:00

西舞鶴教会 第1日曜日、15:00

・KUSATSU CHURCH

Every 4th Sun. 14:00

草津教会 第4日曜日、14:00

・NGAHAMA CHURCH

Every 1st Sun. 14:00

長浜教会 第1日曜日、14:00

・HIKONE CHURCH

Every 1st Sun. 9:00

彦根教会 第1日曜日、9:00

・NARA CHURCH

Every Last Sun. 15:00

奈良教会 最終日曜日、15:00

・YAGI CHURCH

Every 3rd Sun. 14:00

大和八木教会 第3日曜日、14:00

・KORIYAMA CHURCH

1st, 2nd, 4th Wed. 10:00

大和郡山教会 第1・2・4水曜日、10:00

・TSU CHURCH

Every 2nd Sun. 14:00

津教会 第2日曜日、14:00

・YOKKAICHI CHURCH

Every 3rd Sun. 13:00

四日市教会 第3日曜日、13:00

・SUZUKA CHURCH

Every 1st Sun. 14:00

鈴鹿教会 第1日曜日、14:00

・KAMEYAMA CHURCH

Every Last Sun. 12:00

亀山教会 最終日曜日、12:00

・MATSUSAKA CHURCH

Every 1st Sun. 14:00

松阪教会 第1日曜日、14:00

韓国語ミサ (한국어미사)

京都コリアン・カトリックセンター

第1・2・3日曜日 10:00

スペイン語ミサ (ESPAÑOL)

・Iglesia de FUSHIMI

2º Domingo del mes 14:00

伏見教会

第2日曜日、14:00

・Iglesia de KUSATSU

3º Domingo del mes 14:30

・Iglesia de HIKONE

2º Domingo del mes 11:00

・Iglesia de YAGI

1º Domingo del mes 14:00

・Iglesia de NISHI YAMATO

2º Domingo del mes 15:00

・Iglesia de SUZUKA

3º y 5º Domingo del mes 14:00

・Iglesia de UENO

3º Sabado del mes 19:30

・Iglesia de TSU

4º Domingo del mes 14:00

・Iglesia de YOKKAICHI

4º Domingo del mes 12:00

ポルトガル語ミサ (PORTUGUES)

・Igreja paróquia de KUSATSU

2º Domingo do mes 14:00

・Igreja paróquia de HIKONE

4º Domingo do mes 11:00

・Igreja paróquia de NAGAHAMA

1º Domingo do mes 11:30

・Igreja paróquia de YOKKAICHI

1º e 2º Domingo do mes 16:00

・Igreja paróquia de SUZUKA

Todos los Domingos do mes 18:00

・Igreja paróquia de KAMEYAMA

3º Domingo do mes 10:00

・Igreja paróquia de UENO

3º Sabado do mes 19:30

・Igreja paróquia de HISAI

3º Domingo do mes 15:00

・Igreja paróquia de MATSUSAKA

2º Sabado do mes 19:00

4º Domingo do mes 19:00

草津教会

第3日曜日、14:30

彦根教会

第2日曜日、11:00

大和八木教会

第1日曜日、14:00

西大和教会

第2日曜日、15:00

鈴鹿教会

第3・5日曜日、14:00

上野教会

第3土曜日、19:30

津教会

第4日曜日、14:00

四日市教会

第4日曜日、12:00

草津教会

第2日曜日、14:00

彦根教会

第4日曜日、11:00

長浜教会

第1日曜日、11:30

四日市教会

第1・2日曜日、16:00

鈴鹿教会

毎週日曜日、18:00

亀山教会

第3日曜日、10:00

上野教会

第3土曜日、19:30

久居教会

第3日曜日、15:00

松阪教会

第2土曜日、19:00

第4日曜日、19:00

お知らせ

青年センターから

◆ ネットワークinさいたま11日(土)〜12日(日) 群馬県国立赤城青年の家

◆ カトリック青年連絡協議会inさいたま12日(日)〜13日(月) 群馬県国立赤城青年の家

◆ 運営委員会in奈良18日(土)

教区委員会から

◆ 聖書委員会 聖書深読4日(土) 10時 一場修師 河原町会館6階

費用2500円(昼食代を含む)、持参品 聖書・筆記用具・ノート(お申し込みは3日前までに) 聖書講演会「福音書からみたキリストの十字架と復活」26日(日) 13時半 カトリック教会河原町 森一弘司教

ブロック・小教区から

◆ 河原町教会 教会の祈りと聖体賛美式・主日のミサ 第1日曜日 17時半

修道会から

◆ 聖ドミニコ女子修道院 イエスのたとえ話を考える21日(火) 19時半

時半 指導 米田彰男師(ドミニコ会) ▼「ロザリオを共に祈る会」

17日(金) 10時半 ▼以上の2つはどなたでもどうぞ ▼みことばを聴こう 青年黙想会「マルコ福音書を黙想する」12日(日) 9時半

指導 米田彰男師 対象 青年男女 問合せ075(231) 2017

教育関係施設から

◆ 聖母教育文化センター ▼月曜聖書講座6日・20日19時 センター教室 講師 Sr安藤敬子 ▼金曜聖書講座3日・10日・17日 9時半

センター教室 講師 Sr安藤敬子 ▼いずれも無料 問合せ075(643) 23220

諸施設・諸活動から

◆ JOC 働いている青年の集い。集会所 京都働く人の家(九条教会前) 連絡先090(8207)1831

◆ カトリック聴覚障害者の会 京都グループ ▼手話学習会9日(木) 11時 河原町会館

◆ 京都カナの会 ▼2月はお休み

◆ 京都カトリック混声合唱団 ▼練習日12日(日)、19日(日) いずれも14時、25日(土) 19時 場所

河原町会館6階

◆ 京都キリシタン研究会 ▼定例会26日(日) 14時 河原町会館6階

◆ 在世フランシスコ会京都兄弟会 ▼集会18日(土) 13時半 フランシスコの家

◆ 聖ヴィンセンシオ・ア・パウロ会 ▼河原町協議会12日(日) 河原町教会 ▼中央理事会26日(日)

◆ 二金会 ▼10日(金) 西陣教会

◆ 糠みその会 ▼23日(木) 19時半 九条教会ホール

◆ 心のともしび 2月番組案内 ▼テレビ KBS京都テレビ

△5日の放送内容 ▼元暴走族のリーダーで、今は非行問題のカウンセラーとして活動する方の「親が変われば子供も変わる」という信念を語ってもらう。

▼ラジオ KBS京都ラジオ

2月のテーマ「心」 問合せ075(211) 9341

◆ 「二万匹の蟻」運動基金報告 累計 45、931、448円

(12月19日現在)



大塚司教の年間スケジュールの変更

1月号(338号) 6ページから掲載しました大塚司教のスケジュールについて、次の変更がありました。

2月

9日(木) 学法滋賀学園理事会 14時が15時に変更

3月

4日(土) 仙台司教区被選司教平賀徹夫司教叙階式(仙台白百合学園)に変更

司教の滋賀地区集会(草津) 14時は、3月8日(水) 19時に変更、他はキャンセル

8日(水) 学法滋賀学園理事会 14時が、3月9日(木) 14時に変更

9月

19日(火) 学法滋賀学園理事会 14時が15時に変更

大塚司教の

2月のスケジュール

1日(水)	諸宗教対話部門会議	13日(月)	東京カトリック神学院司教委員会	13日(月)	東京カトリック神学院
2日(木)	中央協常任司教委員会 東京カトリック神学院 常任司教委員会	13日(月)	総会(中央協)	17日(金)	臨時司教
3日(金)	故古屋司教命日衣笠墓 参10時	19日(日)	WYD司教カテケージ ス in 仙台(元寺小路教 会)	21日(火)	女子カルメル修道会訪 問(衣笠) 14時
4日(土)	アジア体験学習25周年 感謝ミサ(河原町) 15 時	23日(木)	司教顧問会・責任役員 会10時	24日(金)	カトリック日韓学生交 流会(広島)
5日(日)	日本二十六聖人殉教者 顕彰ミサ(西陣) 15時	25日(土)	京都聖カタリナ女子高 等学校卒業式9時半	26日(日)	WYD司教カテケージ ス in 京都(高見三明長 崎大司教)
7日(火)	共同宣教司牧推進チー ム事務局会議15時	27日(月)	ノートルダム女学院高 等学校卒業式10時	28日(火)	京都暁星高等学校卒業 式10時
8日(水)	福音センター会議14時				
9日(木)	聖家族幼稚園感謝の祈 り11時15分				
10日(金)	学法滋賀学園理事会15 時				
11日(土)	洛星高等学校卒業式聖 体賛美式9時35分 典礼部OB年例会18時 エスコラピオス修道会 アントニオ・マチアス 司祭叙階式ミサ(四日 市)10時				

京都教区中学生会の今と私

有地実希

私は中学生・高校生会の合宿に参加していた縁で、中学生会の夏合宿のリーダーをやった。なかなか、とお声をかけていた。ききました。「人手が足りてないみたいだし一回くらいならいいか」そう思い、気軽にやってみる事を決めました。

合宿当日、私はリーダーというより、むしろ参加中学生の一人といった風でした。川遊びをしたり、手作りのかがきで文を書いたり、食事をしたりととにかく一緒にやってやる、それ以外のことはできませんでした。そんな私でも、先輩リーダーや担当司祭のあたかなフォローや、中学生がたくさん見せてくれた屈託のない笑顔のおかげで、合宿を「つくりあげる」一員になれたのではないかと思います。実感がありました。それは言葉では表現する事ができないような安堵感や満足感に満ちたものでした。その合宿以来、今もなおリーダーが続いている私がいいます。私が合宿で感じる事のできた安堵感や満足感を、中学生とわかちあいたい。私の中でそんな思いが根付いたからです。そして今リーダー経験を通して思うことは、青少年キリス

ト者の育成の場は皆で「つくりあげる」集まりであってほしいという事です。学校や家庭での生活と離れ、同世代の仲間や先輩リーダーと同じ時間を共有し、その中で一人一人が自分は何をするべきか気づき、学び、すすんでそれを行う。中学生にはそれを自分自身の、そして仲間の為にできる人になってほしいです。合宿で学んだ信頼関係を築く事や自己形成の方法を、それぞれの生活の場に持ち帰って生かしてくれるようにお願いながら、私はつたなくとも合宿を皆と一緒に「つくりあげていきたい」と思います。最後に、中学生と共に青年リーダーも成長する機会をたくさんいただいていた事をたくさんの人に感謝し、文を終えさせていただきます。

(この合宿を共に「つくりあげてくれる青年リーダーを随時募集しています。お気軽に青年センターまで声をかけてください。)

青年センターホームページ
http://www.kyoto.catholic.jp/seinen/
携帯電話からもご覧になれます
http://www.kyoto.catholic.jp/seinen/m

青年センターあててな